

【オリコンサルグローバル ニカラグアで起工式 輸送のボトルネック解消】



完成イメージ（写真：EI 19 Digital）

同国ムルクク市で開かれた式典には、ニカラグア側からOscar Mojica交通インフラ省大臣、General Mendezムル

ニカラグアで起工式

輸送のボトルネック解消

オリコンサルグローバル

オリエンタルコンサルタンツグローバルが、詳細設計と施工監理のコンサルティンクサービスを担当しているニカラグア国「リオ・ブランコ」シウナ間橋梁・国道整備事業の起工式が開かれた。写真。橋梁は長さ176mのトラス橋で、JFEエンジニアリングが施工する。カリブ海沿岸地域はインフラ整備が遅れており、特に、北部カリブ海自治地域は貧困指数が高く、開発重点地域に定められている。橋梁は、リオ・ブランコシウナ間幹線道路（国道21B号線の約115km）の一部となる。首都マナグアからRA

CCN（北部カリブ海自治地域）につながる重要道路だが、通行に危険が伴うなど、橋梁が輸送のボトルネックになっていた。橋梁整備などを通して運輸・交通を改善し、同地域のアクセス性を高めて経済活性化に向けた基盤づくりに貢献する。

同国ムルクク市で開かれた式典には、ニカラグア側からOscar Mojica交通インフラ省大臣、General Mendezムル



（写真：EI 19 Digital）